平成 26 年 10 月 17 日

岡山県感染症週報 2014 年 第 41 週（10 月 6 日～ 10 月 12 日）

岡山県は『腸管出血性大腸菌感染症 警報』発令中です。

◆2014 年　第 41 週（10 / 6～ 10 / 12）の感染症発生動向（届出数）

■全数把握感染症の発生状況

第 39 週　5 類感染症　後天性免疫不全症候群　1 名（40 代　男）
第 40 週　2 類感染症　結核　2 名（20 代　女　2 名）
　　5 類感染症　カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症　1 名（70 代　女）

■定点把握感染症発生状況

○RS ウイルス感染症は、県全体で 54 名（定点あたり 0.48 → 1.00 人）の報告があり、前週より増加しました。
○A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で 35 名（定点あたり 0.70 → 0.65 人）の報告があり、前週とほぼ同数でした。

1. 腸管出血性大腸菌感染症の発生報告はありませんでした。岡山県では、「腸管出血性大腸菌感染症 警報」を県下全域に発令し、注意喚起を図っています。詳しくは、岡山県感染症情報センターホームページ『腸管出血性大腸菌感染症 警報 発令中! 』をご覧ください。

2. ＲＳ ウイルス感染症は、県全体で 54 名（定点あたり 0.48 → 1.00 人）の報告があり、前週より増加しました。詳しくは、「今週の注目感染症」をご覧ください。

3. A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で 35 名（定点あたり 0.70 → 0.65 人）の報告があり、前週とほぼ同数でした。過去 5 年間の同時期と比較してやや多い状態です。地域別では、岡山市（1.29 人）、美作地域（0.83 人）、倉敷市（0.73 人）の順で定点あたり報告数が多くなっており、特に岡山市では前週に比べて 2 倍以上の増加がみられました。2014 年第 41 週までの年齢別累計割合は、4-5 歳 27%、6-7 歳 23%、2-3 歳 16%となっており、10 歳未満の小児が全体の約 80%を占めています。第 40 週、全国集計によると、定点あたり 1.26 人の報告があり、過去 10 年間の同時期と比べて最も多くなりました。都道府県別では、山口県（3.06 人）、島根県（2.78 人）、新潟県（2.25 人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。この感染症は、就学前及び学童期で多く発生がみられます。今後の県内の発生状況に注意し、手洗いやうがいを行うなど、感染予防に努めましょう。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ	↑	★	RSウイルス感染症	↗	★★★
咽頭結膜熱	↘	★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★★★
感染性胃腸炎	↘	★	水痘	↘	★
手足口病	↘	★	伝染性紅斑	↑	★
突発性発疹	↗	★★	百日咳	↓	
ヘルパンギーナ	↘	★	流行性耳下腺炎	↘	★
急性出血性結膜炎	→		流行性角結膜炎	→	★
細菌性髄膜炎	→		無菌性髄膜炎	→	
マイコプラズマ肺炎	→		クラミジア肺炎	→	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	→				

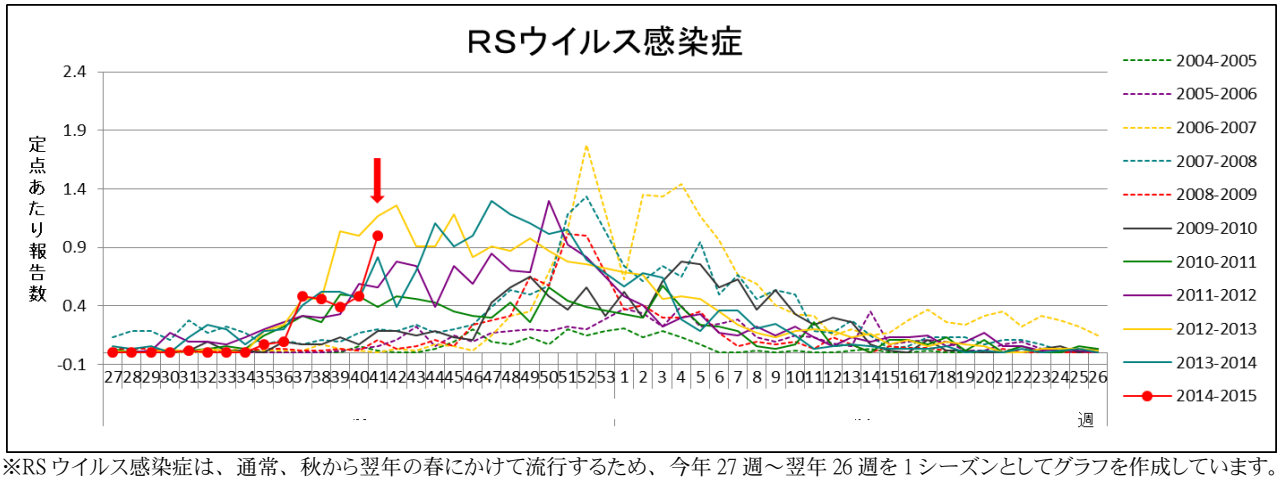
【記号の説明】 前週からの推移:　↓:2 倍以上の減少　↘:1.1～2 倍未満の減少　→:1.1 未満の増減
↗:1.1～2 倍未満の増加　↑: 2 倍以上の増加

発生状況: 空白:発生なし　★: 僅か　★★:少し　★★★:やや多い　★★★★:多い　★★★★★:非常に多い
今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。
感染性胃腸炎（ロタウイルス）については、平成 25 年第 42 週から報告対象となったため、前週からの推移のみ表示しています。

今週の注目感染症

ＲＳウイルス感染症

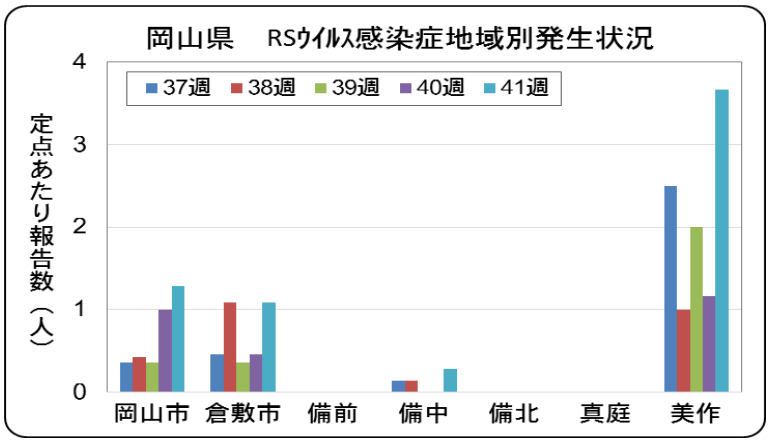
【岡山県の発生状況】

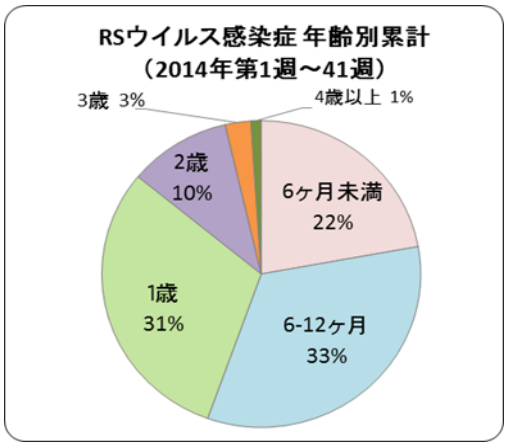


※RS ウイルス感染症は、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、今年 27 週～翌年 26 週を 1 シーズンとしてグラフを作成しています。

RS ウイルス感染症は、県全体で 54 名（定点あたり 0.48 → 1.00 人）の報告があり、前週より増加しました。地域別では、美作地域（定点あたり 1.17→3.67 人）で大きく増加しており、岡山市（1.00 → 1.29 人）、倉敷市（0.45 → 1.09 人）でも定点あたり報告数が増加しました。2014 年第 41 週までの年齢別累計割合では、6-12 ヶ月未満 33%、1 歳 31%、6 ヶ月未満 22% の順であり、1 歳未満の乳児が全体の 55% を占めています。

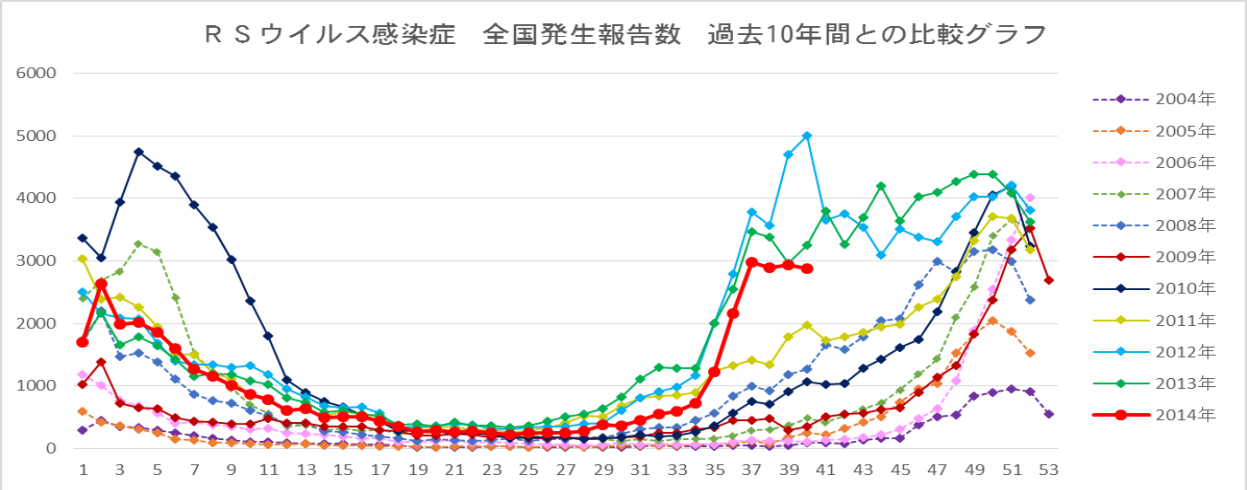
RS ウイルス感染症は、乳児が感染すると重症化する恐れがあります。今後の発生状況に注意するとともに、乳児がいる家庭では、特に感染予防に努めて下さい。お子さんの体調が悪いときは、早めに医療機関を受診してください。

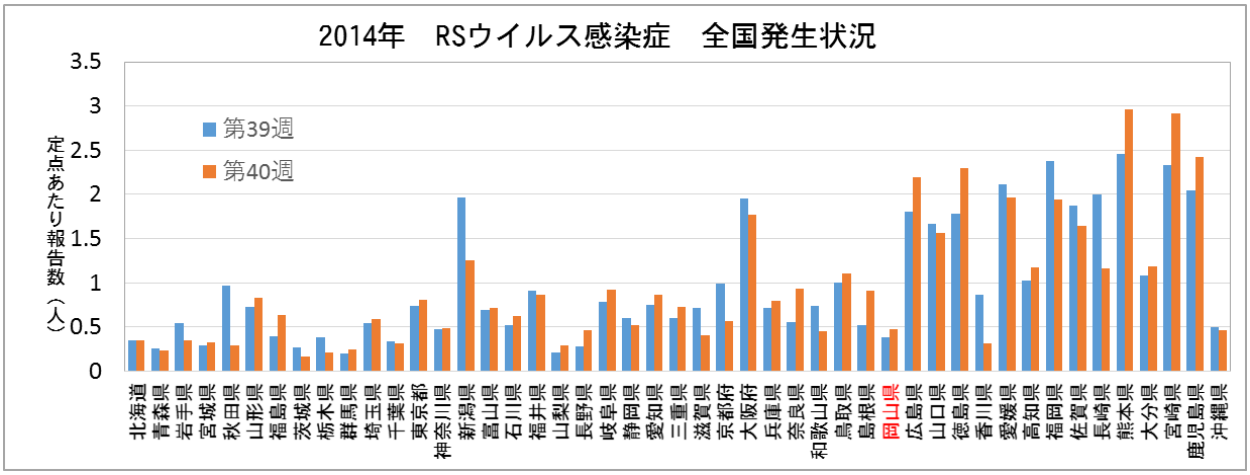




【全国の発生状況】

2014 年、全国の患者報告数は、第 38 週（9/15～9/21）からほぼ横ばい状態が続いています。第 40 週（9/29～10/5）全国集計によると、熊本県（2.96 人）、宮崎県（2.92 人）、鹿児島県（2.42 人）の順で定点あたり報告数が多くなっており、近県である広島県（2.19 人）や山口県（1.56 人）でも多くの患者が報告されています。





【RS ウイルス感染症とは】

RS ウイルス感染症は、RS ウイルスによる急性呼吸器感染症です。この感染症は、例年冬季に流行がみられていましたが、近年では夏頃から患者が報告されるようになりました。感染後 2～8 日の潜伏期間ののち、発熱、鼻汁、咳などの風邪症状が現れます。約 70% の乳児が、1 歳になるまでに RS ウイルスに感染し、その約 3 割が肺炎や細気管支炎を引き起こします。母体からの移行抗体では感染を防ぐことができないため、生後 6 ヶ月以下の乳児においては、重症化し入院を必要とすることもあります。年齢を問わず、生涯にわたり感染・発症を繰り返しますが、通常は年齢が上がるにつれて、重症化しにくくなります。

【感染経路】

感染している人が、咳やくしゃみをした際に飛び散るしぶきを浴びて、ウイルスを吸い込む飛沫感染や、ウイルスがついている手指や物品を触ったり舐めたりすることなどによる、間接的な接触感染で感染します。

【治　療】

特効薬はないため、症状に応じた対症療法を行います。

RS ウイルス感染症とは（国立感染症研究所）
RS ウイルス感染症に関する Q&A（厚生労働省）

保健所別報告患者数　2014年 41週　（2014/10/06～2014/10/12）

2014年10月15日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	9	0.11	4	0.18	1	0.06	－	－	2	0.17	2	0.33	－	－	－	－
RSウイルス感染症	54	1.00	18	1.29	12	1.09	－	－	2	0.29	－	－	－	－	22	3.67
咽頭結膜熱	5	0.09	1	0.07	1	0.09	－	－	－	－	－	－	－	－	3	0.50
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	35	0.65	18	1.29	8	0.73	2	0.20	1	0.14	－	－	1	0.50	5	0.83
感染性胃腸炎	210	3.89	59	4.21	49	4.45	35	3.50	8	1.14	33	8.25	5	2.50	21	3.50
水痘	21	0.39	6	0.43	11	1.00	2	0.20	－	－	－	－	－	－	2	0.33
手足口病	17	0.31	13	0.93	2	0.18	1	0.10	－	－	1	0.25	－	－	－	－
伝染性紅斑	1	0.02	1	0.07	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
突発性発疹	26	0.48	14	1.00	6	0.55	2	0.20	1	0.14	－	－	－	－	3	0.50
百日咳	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ヘルパンギーナ	7	0.13	3	0.21	－	－	1	0.10	1	0.14	－	－	－	－	2	0.33
流行性耳下腺炎	10	0.19	2	0.14	1	0.09	3	0.30	3	0.43	－	－	－	－	1	0.17
急性出血性結膜炎	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－					－	－
流行性角結膜炎	5	0.42	3	0.60	1	0.25	－	－	1	1.00					－	－
細菌性髄膜炎	－	－	－	－	－	－					－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎	－	－	－	－	－	－					－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎	－	－	－	－	－	－					－	－	－	－	－	－
クラミジア肺炎	－	－	－	－	－	－					－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	－	－	－	－	－	－					－	－	－	－	－	－

（－：　0　or　0.00）　　（空白：定点なし）

保健所別報告患者数　2014年 41週　（2014/10/06～2014/10/12）

2014年10月15日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	9	0.11	4	0.18	1	0.06	－	－	2	0.17	2	0.33	－	－	－	－
咽頭結膜熱	5	0.09	1	0.07	1	0.09	－	－	－	－	－	－	－	－	3	0.50
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	35	0.65	18	1.29	8	0.73	2	0.20	1	0.14	－	－	1	0.50	5	0.83
感染性胃腸炎	210	3.89	59	4.21	49	4.45	35	3.50	8	1.14	33	8.25	5	2.50	21	3.50
水痘	21	0.39	6	0.43	11	1.00	2	0.20	－	－	－	－	－	－	2	0.33
手足口病	17	0.31	13	0.93	2	0.18	1	0.10	－	－	1	0.25	－	－	－	－
伝染性紅斑	1	0.02	1	0.07	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
百日咳	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ヘルパンギーナ	7	0.13	3	0.21	－	－	1	0.10	1	0.14	－	－	－	－	2	0.33
流行性耳下腺炎	10	0.19	2	0.14	1	0.09	3	0.30	3	0.43	－	－	－	－	1	0.17
急性出血性結膜炎	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－					－	－
流行性角結膜炎	5	0.42	3	0.60	1	0.25	－	－	1	1.00					－	－

今週、岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル２、レベル３に該当するものはありませんでした。

（－：　0　or　0.00）　（空白：定点なし）

感染症発生動向調査　週情報　　報告患者数　年齢別　　（ 2014年　第41週　 2014/10/06～2014/10/12 ）

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	9	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	2	-	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～
RSウイルス感染症	54	6	18	16	9	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	5	-	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	35	-	1	1	3	5	3	2	5	5	3	2	4	1	-
感染性胃腸炎	210	5	19	37	20	17	17	13	13	8	6	7	20	4	24
水痘	21	-	1	3	3	4	5	3	-	1	-	-	1	-	-
手足口病	17	-	-	4	3	3	1	4	1	1	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	26	1	11	13	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	7	-	1	-	1	-	2	1	1	-	-	-	-	-	1
流行性耳下腺炎	10	-	-	-	-	1	2	2	3	-	1	-	1	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	5	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	1

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

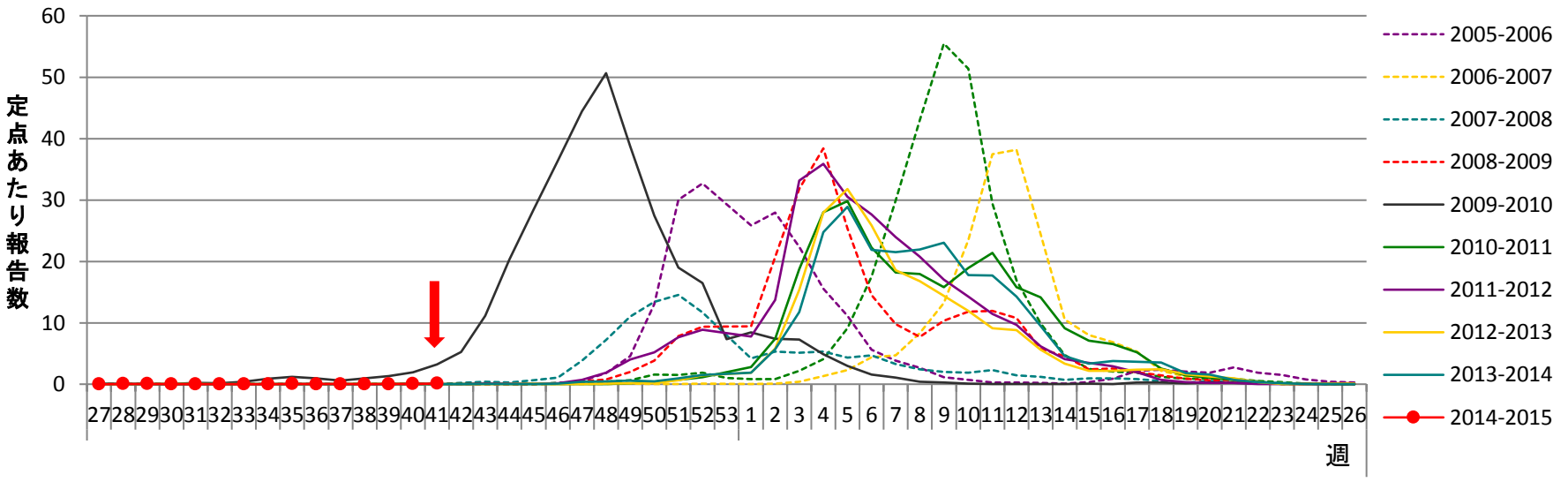
（－： 0 ）

全数把握 感染症患者発生状況

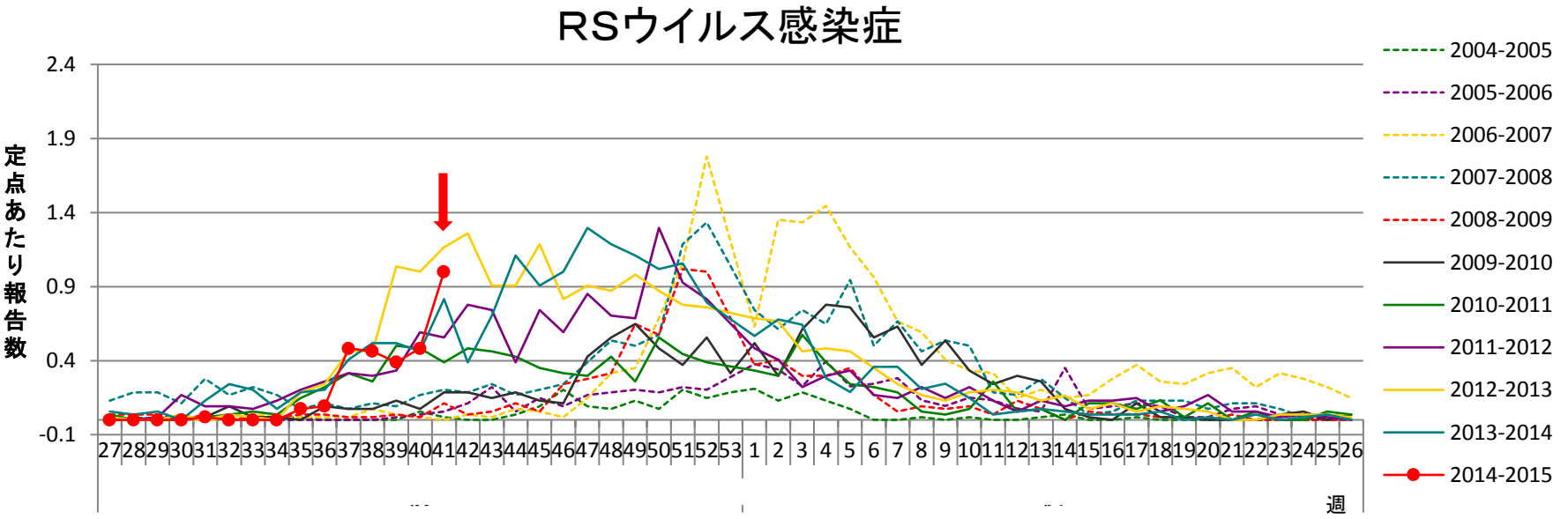
2014 年 41 週

分類	疾病名	2014 今週	2014 累計	2013 昨年	疾病名	2014 今週	2014 累計	2013 昨年	疾病名	2014 今週	2014 累計	2013 昨年
一類	エボラ出血熱	–	–	–	クリミア・コンゴ出血熱	–	–	–	痘そう	–	–	–
	南米出血熱	–	–	–	ペスト	–	–	–	マールブルグ病	–	–	–
	ラッサ熱	–	–	–		–	–	–		–	–	–
二類	急性灰白髄炎	–	–	–	結核	–	287	358	ジフテリア	–	–	–
	重症急性呼吸器症候群	–	–	–	鳥インフルエンザ（H5N1）	–	–	–		–	–	–
三類	コレラ	–	–	–	細菌性赤痢	–	–	–	腸管出血性大腸菌感染症	–	60	87
	腸チフス	–	–	1	パラチフス	–	–	–		–	–	–
四類	E型肝炎	–	1	–	ウエストナイル熱	–	–	–	A型肝炎	–	6	5
	エキノコックス症	–	–	–	黄熱	–	–	–	オウム病	–	–	–
	オムスク出血熱	–	–	–	回帰熱	–	–	–	キャサヌル森林病	–	–	–
	Q熱	–	–	–	狂犬病	–	–	–	コクシジオイデス症	–	–	–
	サル痘	–	–	–	重症熱性血小板減少症候群	–	2	2	腎症候性出血熱	–	–	–
	西部ウマ脳炎	–	–	–	ダニ媒介脳炎	–	–	–	炭疽	–	–	–
	チクングニア熱	–	–	–	つつが虫病	–	1	–	デング熱	–	1	–
	東部ウマ脳炎	–	–	–	鳥インフルエンザ	–	–	–	ニパウイルス感染症	–	–	–
	日本脳炎	–	–	1	日本紅斑熱	–	4	2	ハンタウイルス肺症候群	–	–	–
	Bウイルス病	–	–	–	鼻疽	–	–	–	ブルセラ症	–	–	–
	ベネズエラウマ脳炎	–	–	–	ヘンドラウイルス感染症	–	–	–	発しんチフス	–	–	–
	ボツリヌス症	–	–	–	マラリア	–	–	1	野兎病	–	–	–
	ライム病	–	–	–	リッサウイルス感染症	–	–	–	リフトバレー熱	–	–	–
	類鼻疽	–	–	–	レジオネラ症	–	24	24	レプトスピラ症	–	–	2
	ロッキー山紅斑熱	–	–	–		–	–	–		–	–	–
五類	アメーバ赤痢	–	8	20	ウイルス性肝炎*3	–	7	13	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染	–	2	–
	急性脳炎*4	–	9	5	クリプトスポリジウム症	–	–	–	クロイツフェルト・ヤコブ病	–	–	4
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	–	3	3	後天性免疫不全症候群	–	18	18	ジアルジア症	–	–	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	–	–	1	侵襲性髄膜炎菌感染症	–	–	–	侵襲性肺炎球菌感染症	–	18	20
	水痘（入院例に限る。）	–	1	–	先天性風しん症候群	–	–	–	梅毒	–	13	8
	播種性クリプトコックス症	–	–	–	破傷風	–	1	4	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染	–	–	–
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	–	1	1	風しん	–	2	76	麻しん	–	6	3
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	–	–	–		–	–	–		–	–	–

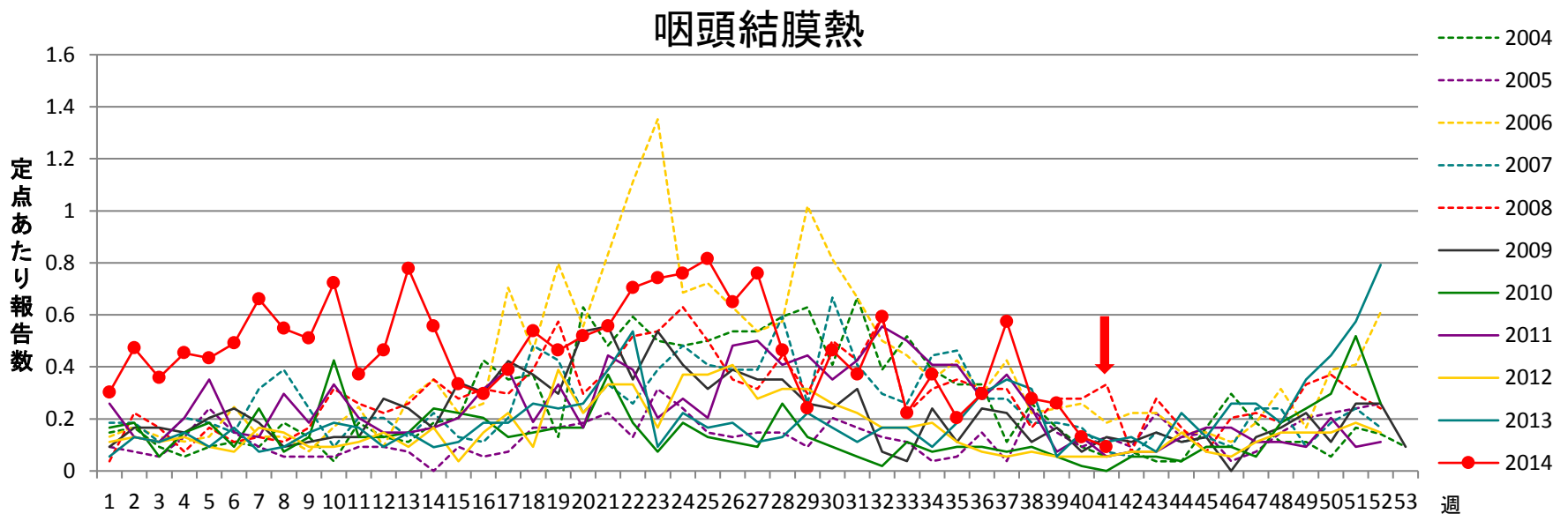
インフルエンザ



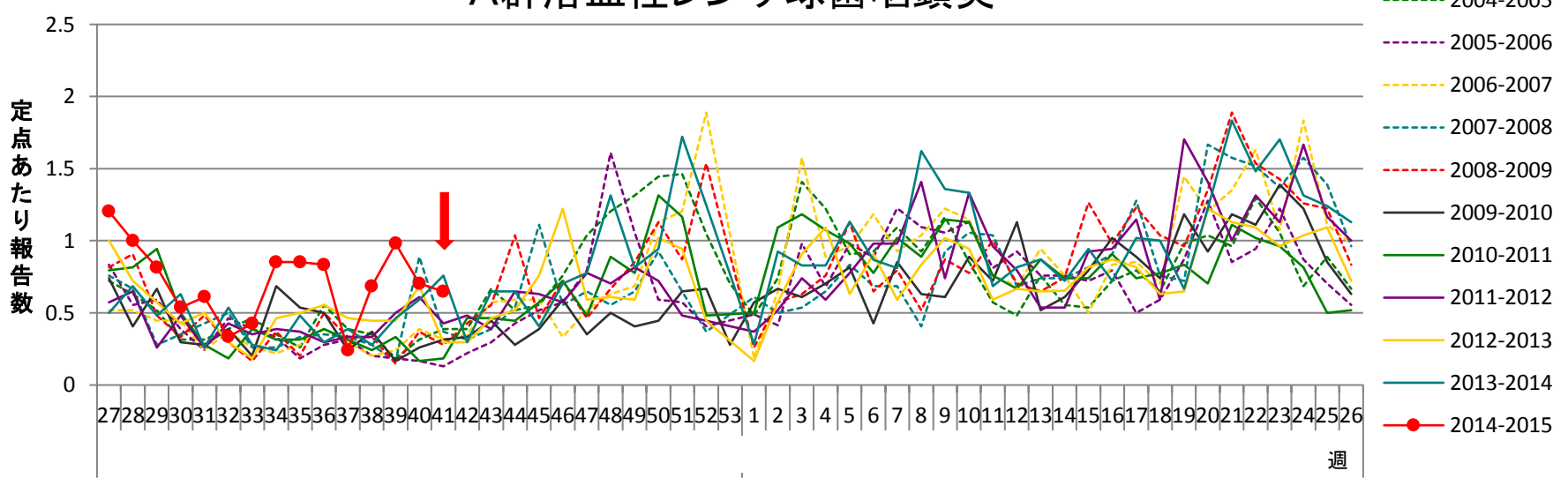
RSウイルス感染症



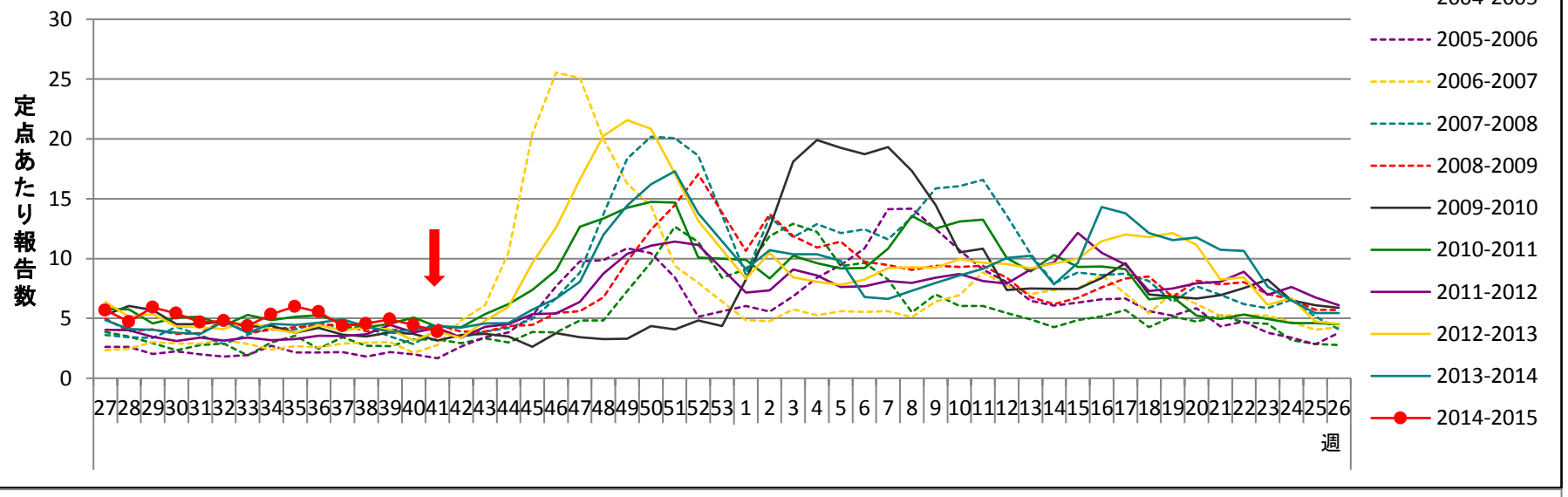
咽頭結膜熱



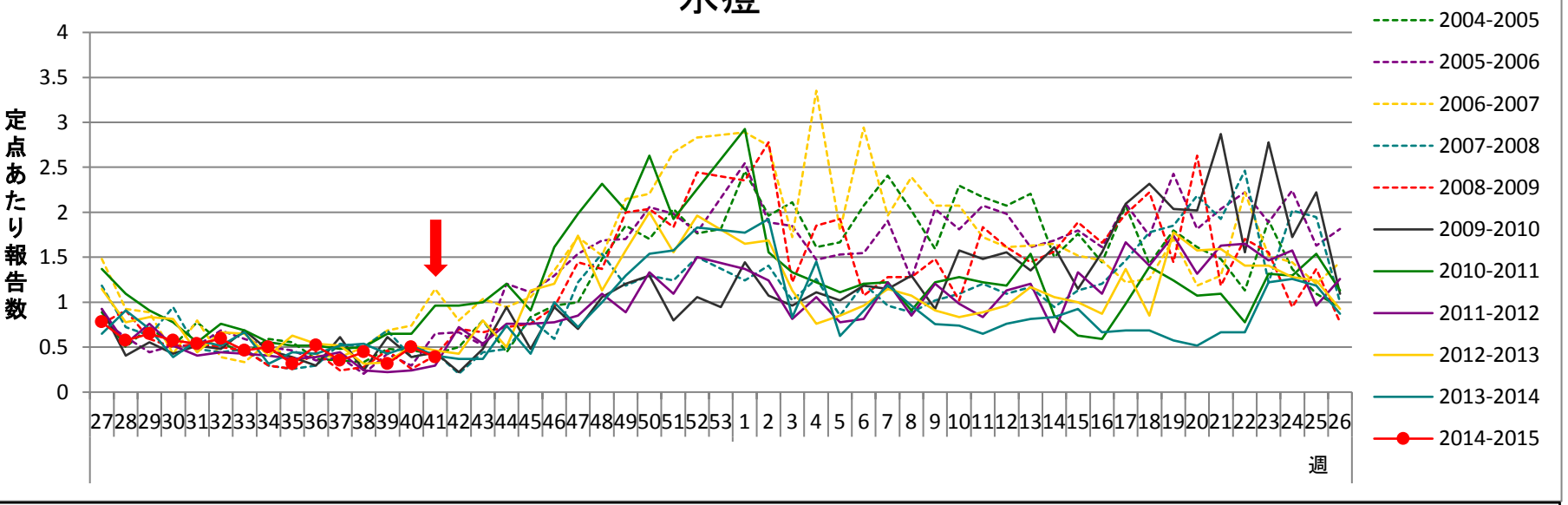
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



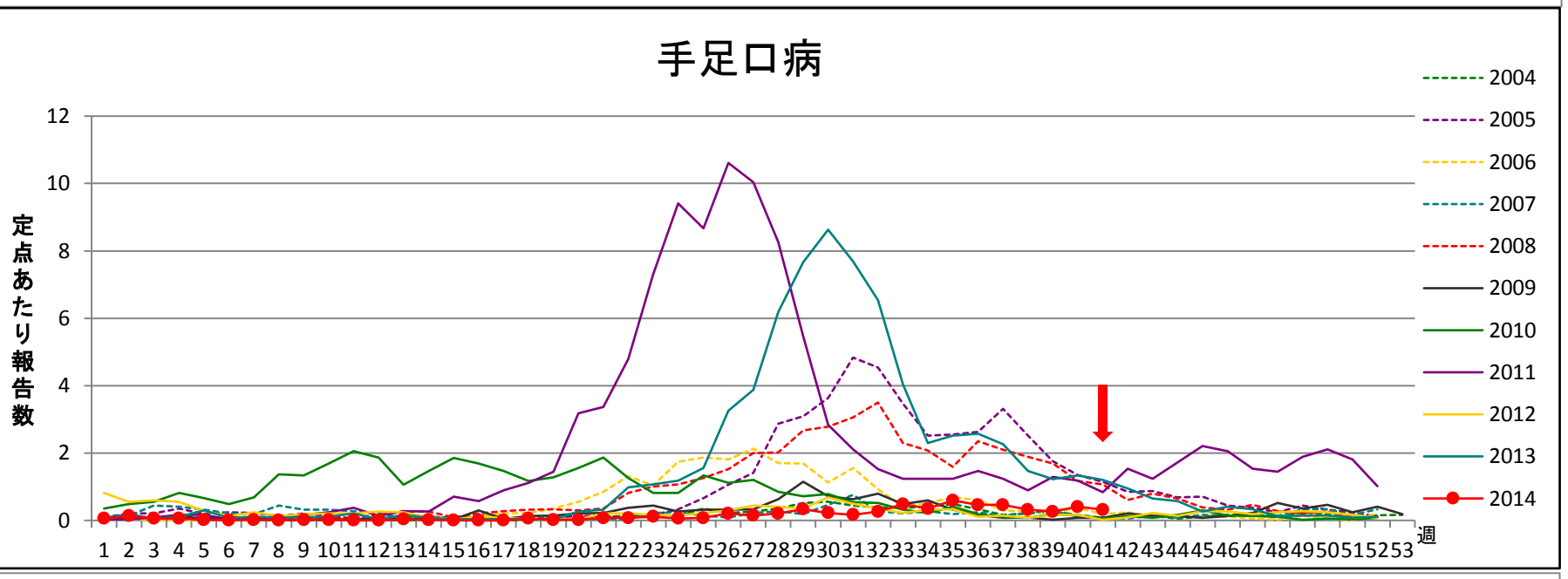
感染性胃腸炎



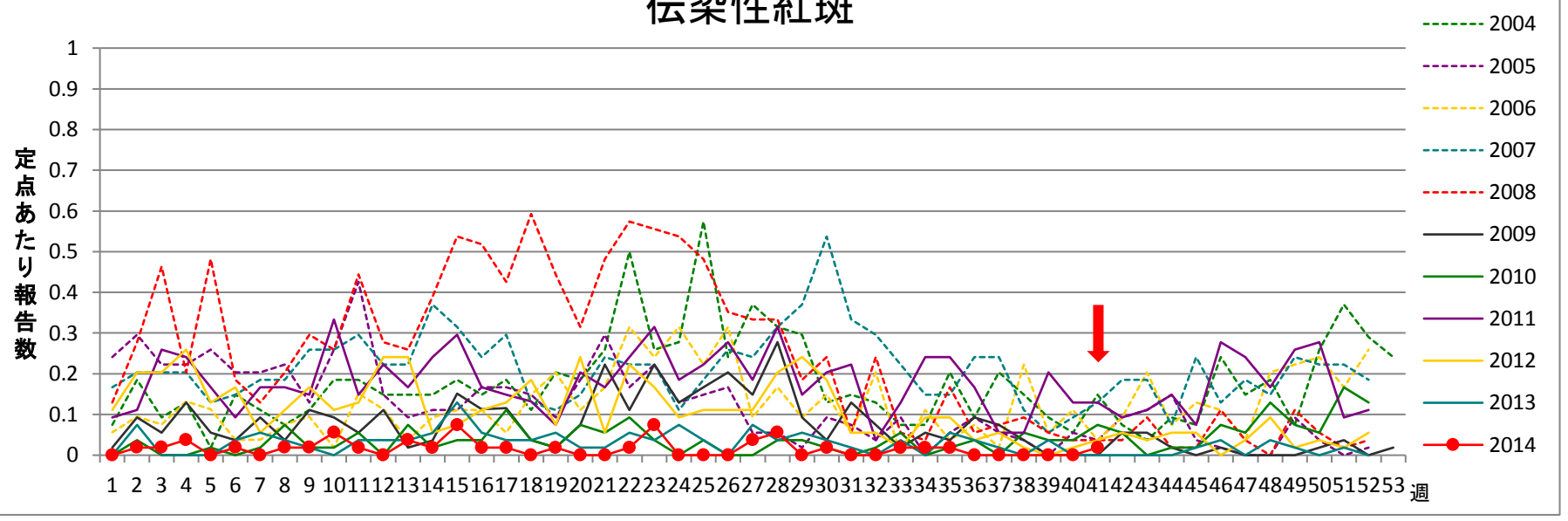
水痘



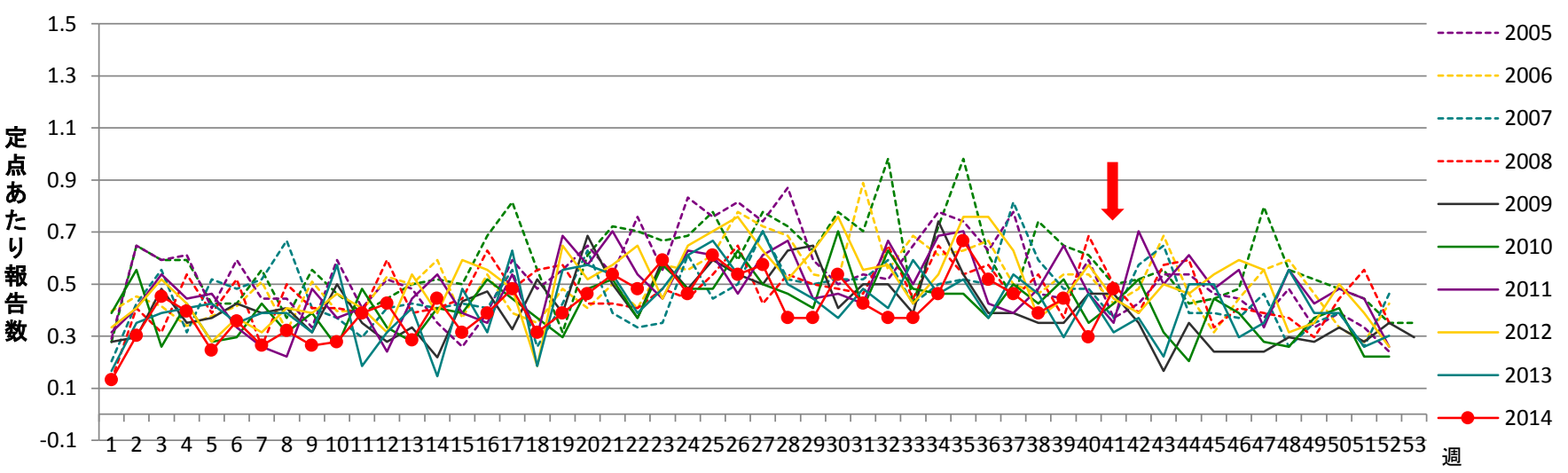
手足口病



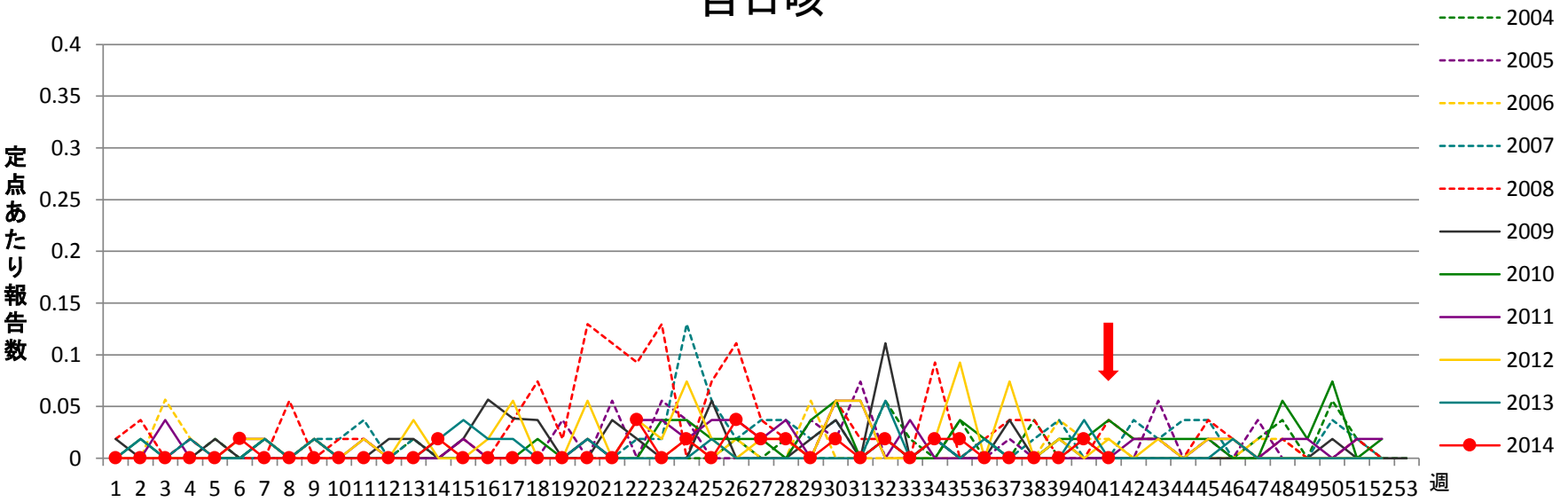
伝染性紅斑



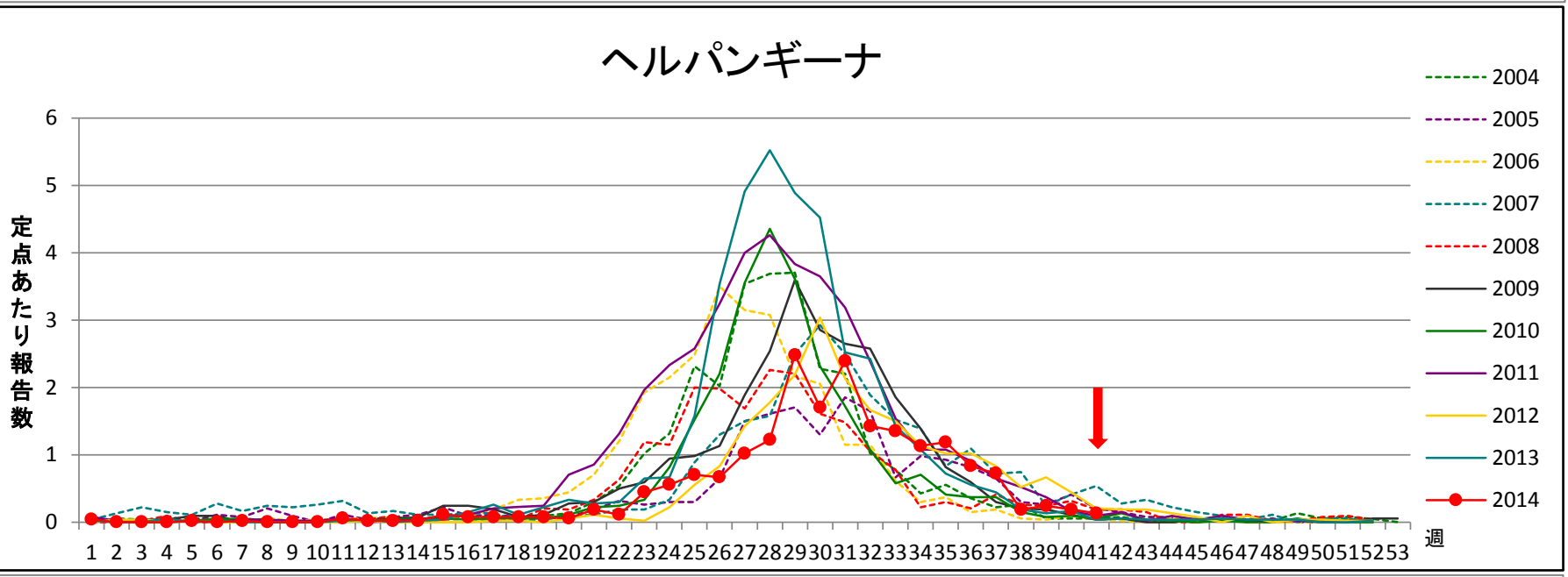
突発性発疹



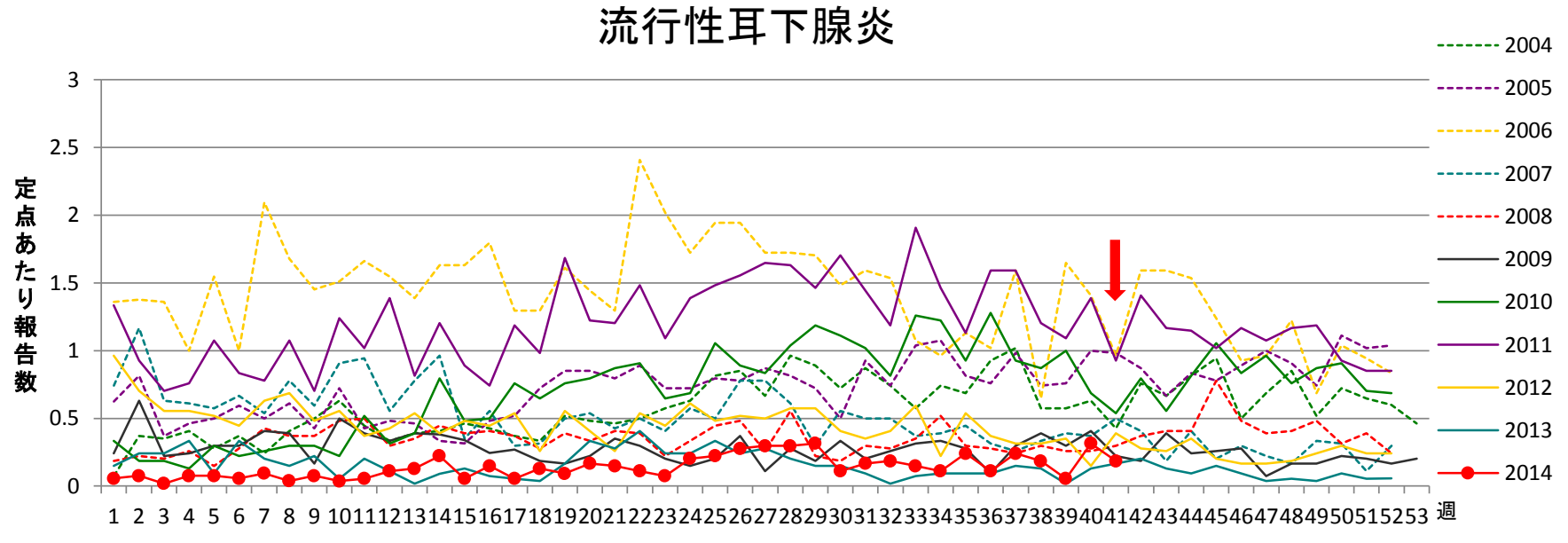
百日咳

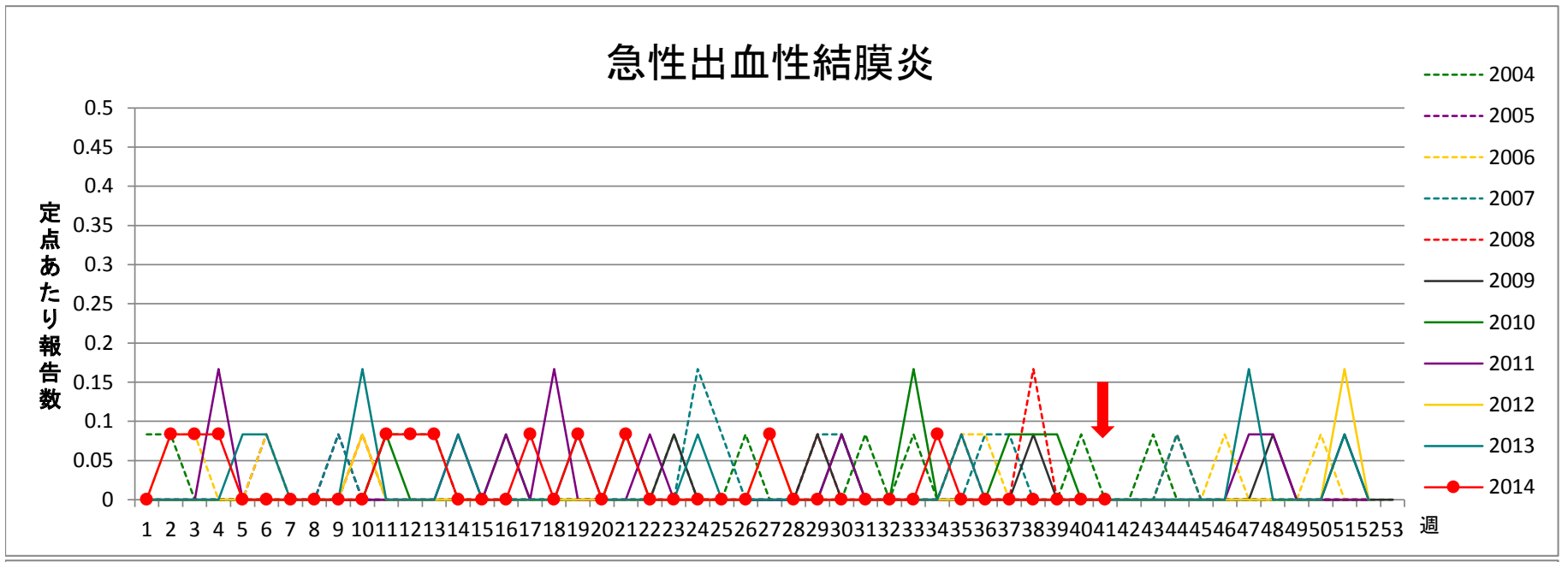


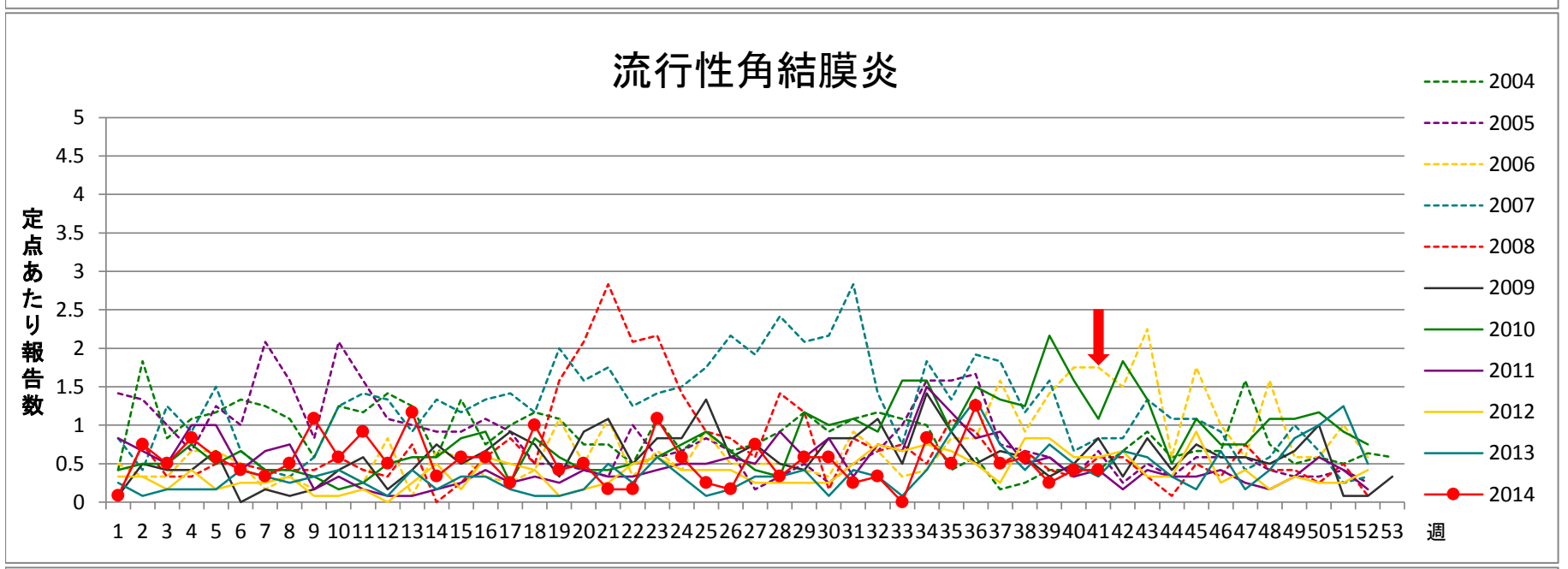
ヘルパンギーナ

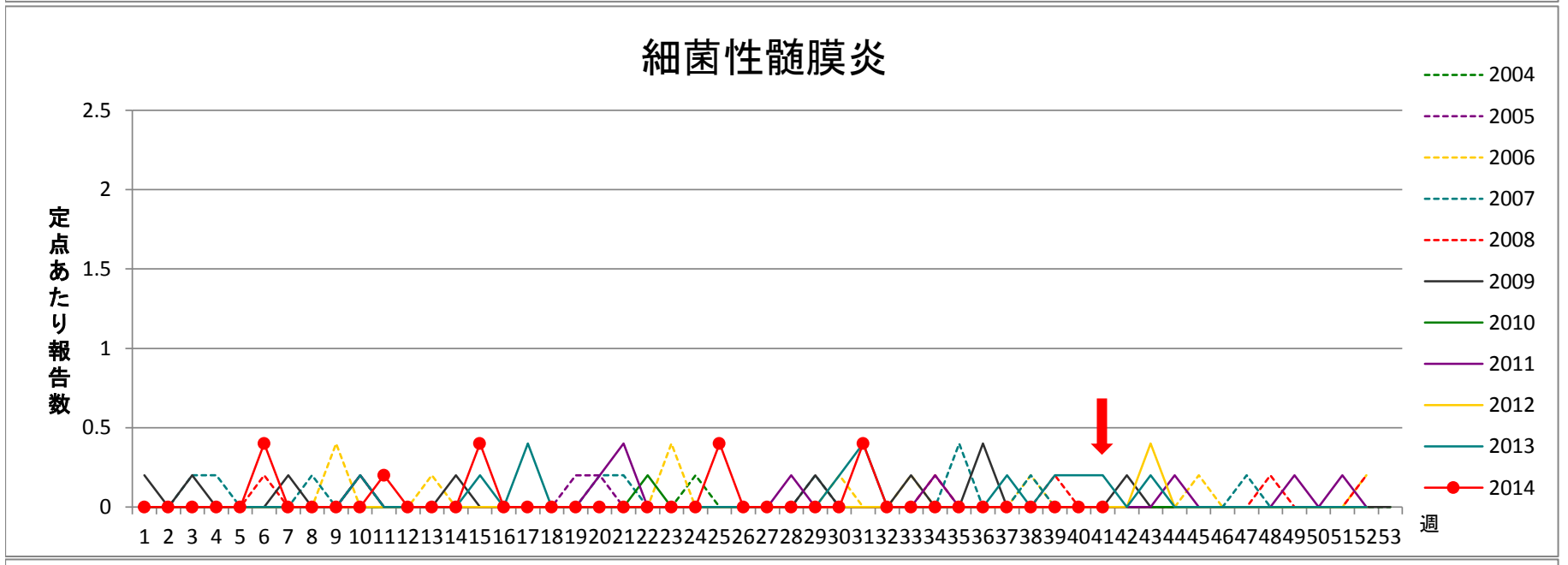


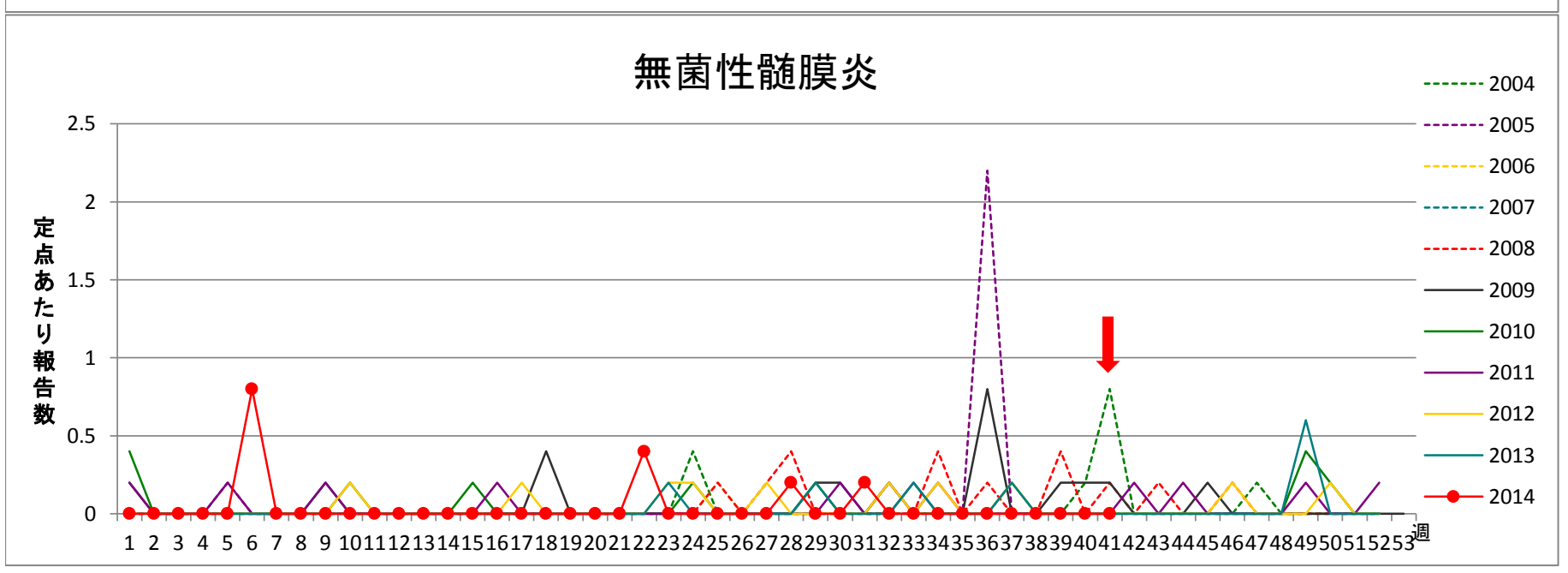
流行性耳下腺炎



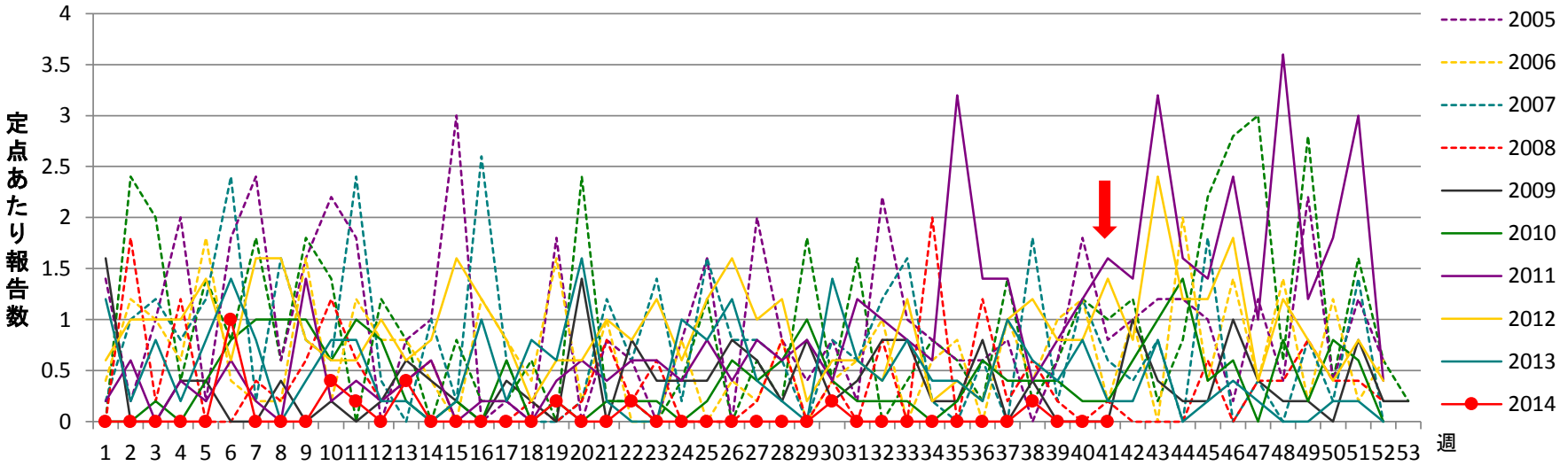

急性出血性結膜炎
定点あたり報告数
0.5
0.45
0.4
0.35
0.3
0.25
0.2
0.15
0.1
0.05
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2004
2005
2006
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014


流行性角結膜炎
定点あたり報告数
5
4.5
4
3.5
3
2.5
2
1.5
1
0.5
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2004
2005
2006
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014

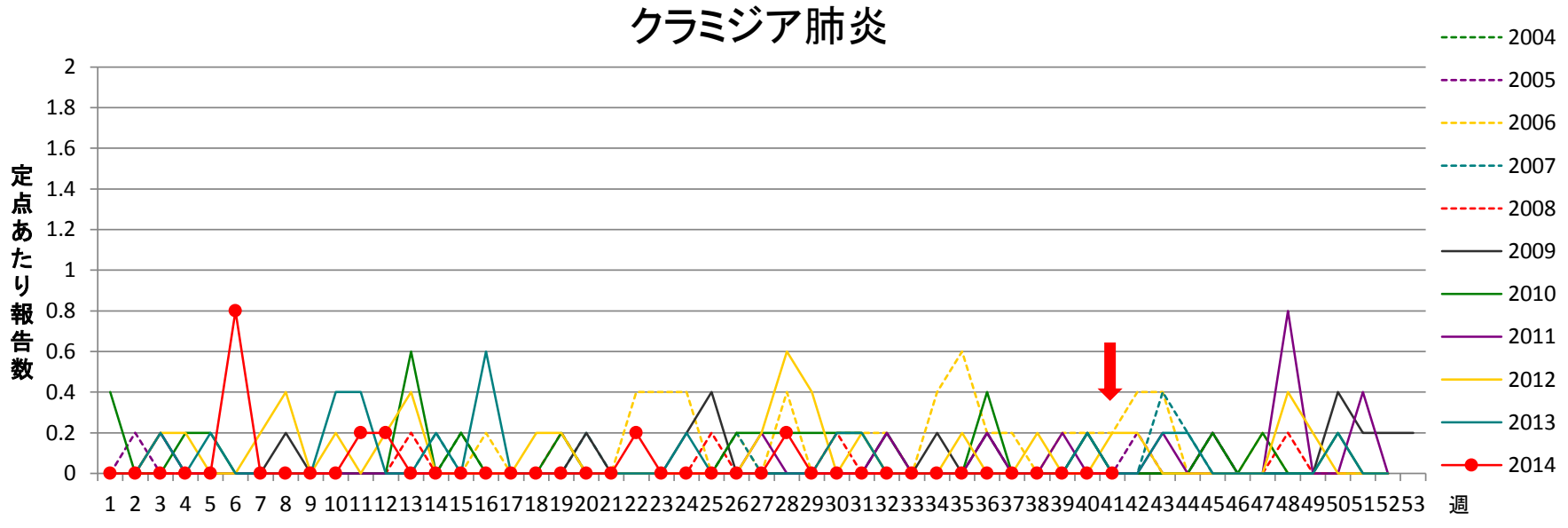
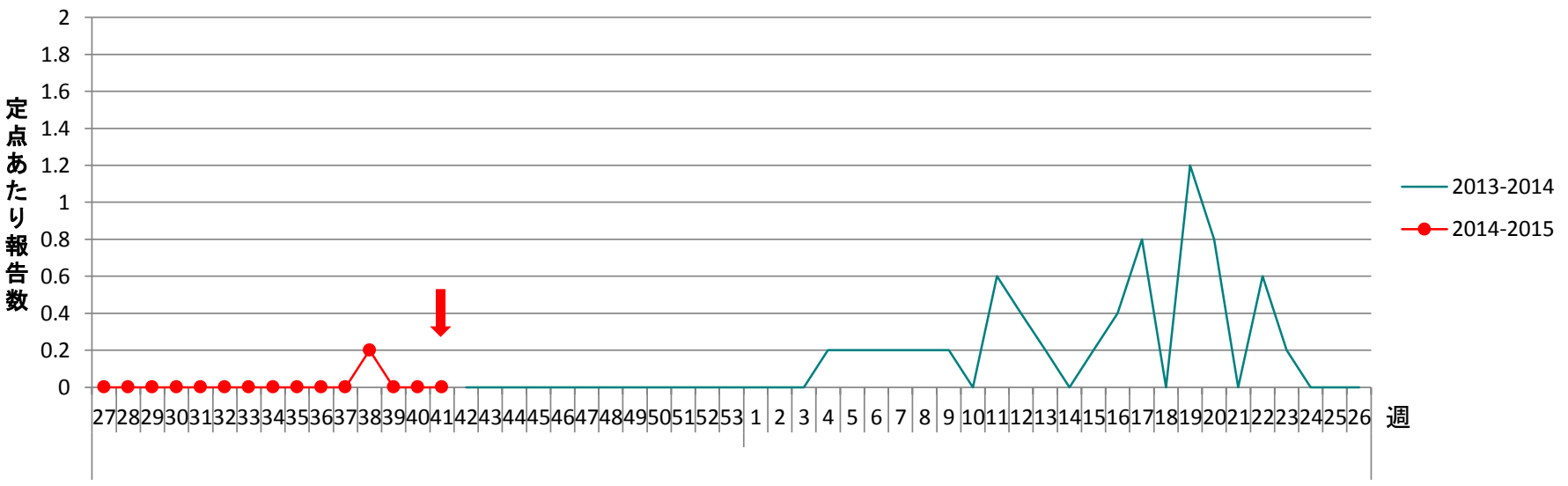

細菌性髄膜炎
定点あたり報告数
2.5
2
1.5
1
0.5
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2004
2005
2006
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014


無菌性髄膜炎
定点あたり報告数
2.5
2
1.5
1
0.5
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2004
2005
2006
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014

マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎



感染性胃腸炎（ロタウイルス）